

## 平成 29 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校美術 3 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて独創的な主題を生成し個性を生かした創造的な表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。  
○主題に合った表現方法の工夫、個性を生かした創造的な表現やデザインを心がける。

## 2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅲ」の学習内容について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 2年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。 d: 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。	学習活動の様子
	自分をモチーフとして作品を作る	[絵画・彫刻] [鑑賞] ・絵画 50号F以上の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る。 ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: 独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的な表現を迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	バラをモチーフにして作品を作る	[デザイン] [鑑賞] ・B 全の大きさで、テーマを自由に設定し、スケッチデッサンする。 ・制作 創ろうとする作品の主題を自覚し、作品を創る ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。」	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインを迫っている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	美術の世界	[鑑賞] ・教科書の作品を通して、今日の社会と美術との関わりをまとめる。	◎			◎	a: 美術に関する職業から、美術の世界の広がりを理解している。 d: 国際理解に果たす美術の役割について理解している。	ワークシート 鑑賞活動の様子

3 学 期	「4 年 後 の 私」 を テ ー マ に 作 品 を 創 る	[絵画・彫刻] [デザイン]						
		・表現形式を自由に設定し、 スケッチデッサンをする。 ・制作 主題や表現形式に合った表 現方法から工夫し作品を創る	◎	○				a: 自分の創造的な表現に合っ た表現形式を見出そうとして いる。 b: 独創的な主題を生成し、デ ザイン効果や表現の構想を練 っている。 c: 主題に合った表現方法を工 夫し、個性を生かして創造的な デザインや表現を迫及してい る。

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
 c:技能    d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。